

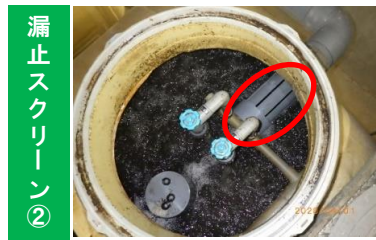
私たちは緊急出動ゼロを目指しています！

丁寧な・熱心な作業も技術の一つです！
毎月発行のニュースは、今月100号となりました。

DSP排水処理槽・バックアップサポート装置は、すべて自社開発品です！！



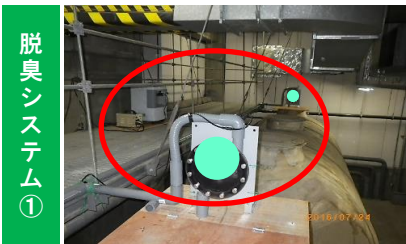
漏止スクリーン①



漏止スクリーン②

DSP排水処理槽は、近年、担体流動槽が多く採用されています。

その担体処理槽には、担体流出防止スクリーンが設置されていますが、担体の破損、担体によるスクリーン閉塞障害が発生しています。新型スクリーンはその閉塞をなくすために開発され、多くの担体流動槽に設置し効力を発揮しています。



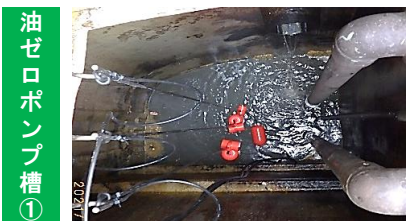
脱臭システム①



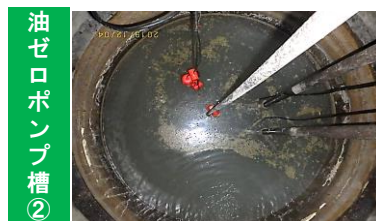
汚泥減容システム②

①DSP・HVシステム脱臭①は、処理槽の設置個所がマンション屋内のため、処理槽の臭気対策に当該脱臭システムを採用しています。臭気は、ほとんど無くなります。

②HVシステムは、処理槽で発生する余剰汚泥減容の役割も果たします。当該システムの採用で汚泥引き抜きをなくしています。



油ゼロポンプ槽①



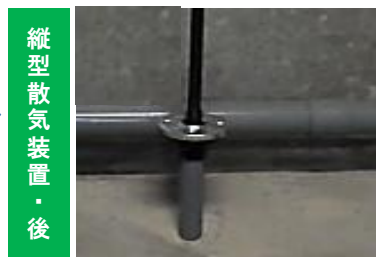
油ゼロポンプ槽②

油脂ゼロポンプ槽は、丸形、角形を問わず、ポンプ槽で発生した油脂をなくします。

油脂の堆積・除去は厄介です。当装置は多くの箇所採用され、改良を加え進化を遂げています。何より、これまでの処分がなくなり費用が軽減されます。CO2排出削減効果大です。



横型散気装置・前



縦型散気装置・後



dsp排水処理槽・散気装置には横型装置も存在します。横型は、散気装置を固定設置しています。その結果、散気装置が閉塞しばつ気が低下しても修繕が極めて困難です。

縦型散気装置は、閉塞した散気装置に代わって設置が可能です。また、取り外しが自由に閉塞しない優れた装置です。

水物語 No90 SDGs(持続可能な開発目標)とWater! (J・N)



写真は熊本県の通潤橋の放水です。

SDGs(持続可能な開発目標)という言葉が日々ニュースで発信され、様々な企業の事業計画にも盛り込まれています。今後の全人類での努力目標となっています。

目標の中で「No6: 安全な水とトイレを世界中に」と「No14: 海の豊かさを守ろう」と「No15: 陸の豊かさを守ろう」が、私たちのテーマ「綺麗な水」とオーバーラップしています。

山と川と海と陸は、別々に存在しているのではなく、実は水の流れでつながった一体の世界です。その過程で私たちは自然界から水を拝借し、使用済みの水を自然界にお返ししているのです。

いつまでも綺麗な水が拝借できて、きれいな水に戻してお返すことが大切です。そして、自然界にある水(川や湖や海)と、いつまでも親しむことができる環境が身近に保たれていて欲しいですね。

油脂ゼロ・流入ポンプ槽推進中！
DSPハイブリッドシステム推進中！

株式会社クリーンテックサービス東京